

# 万協フロー 後付用補強支持脚 NMT・NMTB 施工要領書

## 1.はじめに

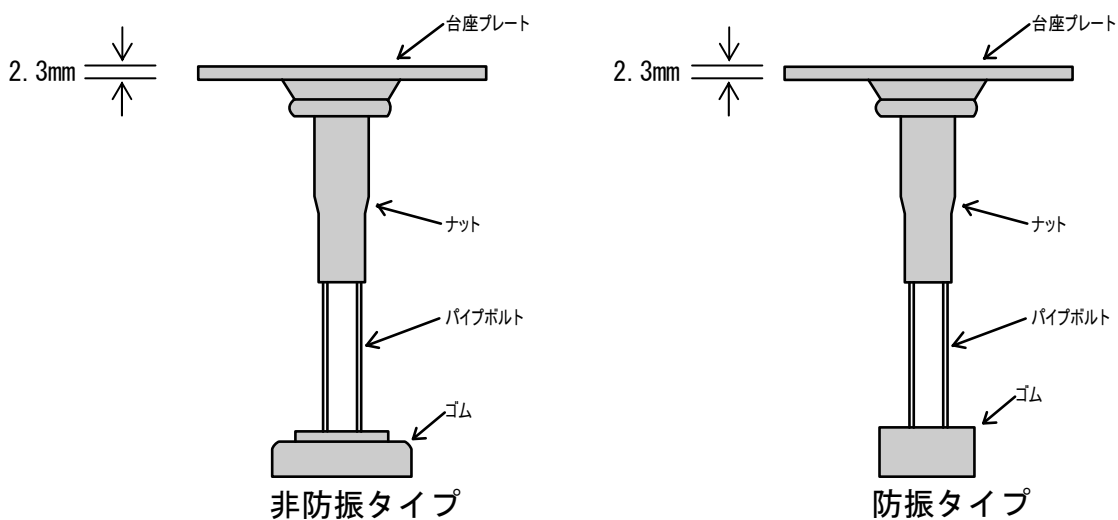
このたびは弊社二重床をご採用いただきありがとうございます。  
製品の特性を十分に生かし、安全で美しい仕上がりに施工して頂くために  
本書をよく読み、正しくお取り扱いいただきますようお願いします。

## 2.施工工具一覧

- 電動ドリル（穴あけ用）
- インパクトドライバー（ビス留め用）
- ドリル刃 またはドリル切
  - φ35mm（NMT-50～190、NMTB-60～200）
  - φ45mm（NMT-220～1060、NMTB-220～1060）
- ドライバー（+）（床高調整用）

## 3.製品仕様

### ①支持脚の構成



遮音性能はありません

遮音性能の低下を抑えます

（※後付用補強支持脚は、間仕切壁下の補強脚として取り付けます。）

## ②接着剤（BA-400）（同梱）

中ブタを取り、ノズルの先端をカッターで切って使⽤します。  
冬季など低温度・低湿度のときは硬化しにくい場合があります。

**注意** 万協フロー指定の接着剤をご使⽤ください。

**注意** 使⽤の際は換気をよくしてください。

誤って目に入れたり、飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受けてください。



## ③皿ビス （市販品）

長さ25mm×約φ3.5mm

**注意** 後付用補強支持脚は間仕切壁下に取付けますので、強度を確保するために全ねじタイプのも  
のをご使⽤下さい。

# 4. 施⼯手順

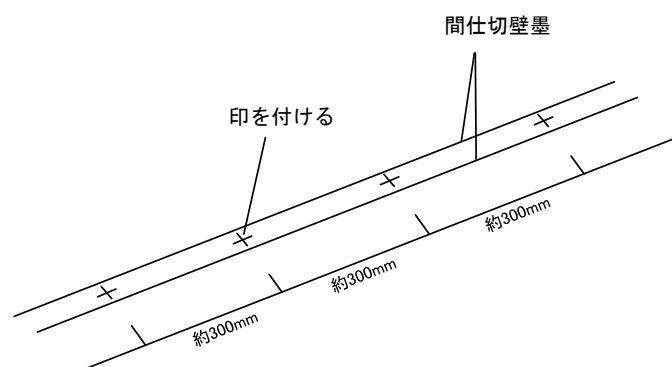
## 4.1 施⼯を始める前に

- ・床下地の施⼯が完了していることを確認して下さい。
- ・間仕切壁位置に墨だしがされていることを確認して下さい。

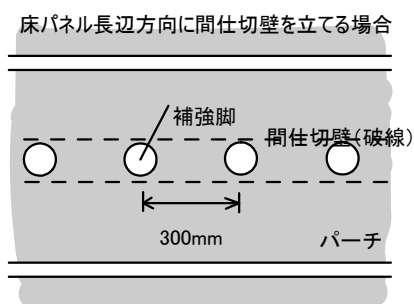
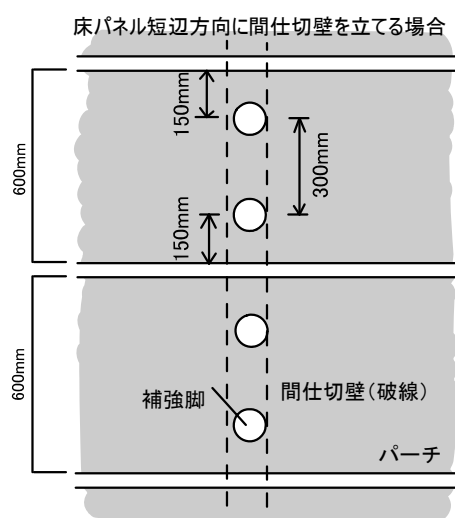
## 4.2 位置だし

補強脚を取付ける箇所に印を付けます。

補強脚はおおむね300mm間隔で取付けます。

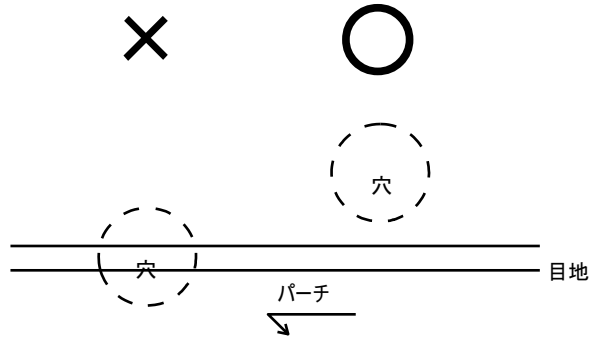


パーティに対する補強脚の取付け位置は、下図の  
要領です。



注意 1

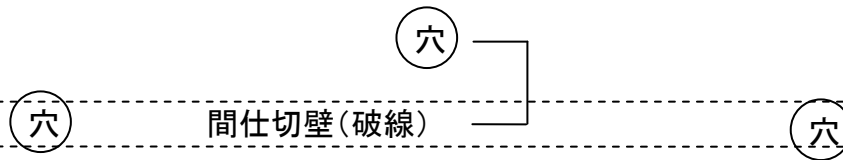
パーチの目地に穴をあけないで下さい。  
あけたいときは目地を避け、左右どちらかに移動して下さい。



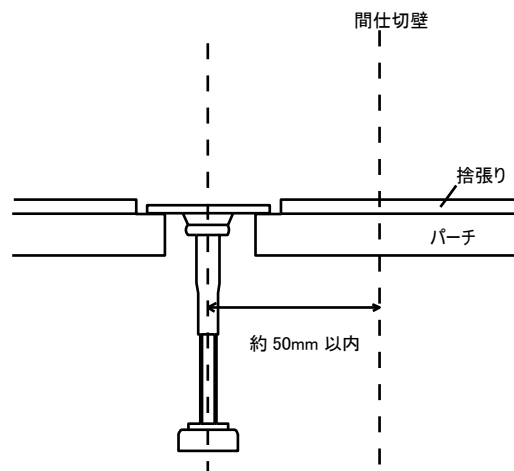
注意 2

取付けが困難な箇所（たとえば、配管がある等）は、取付け位置を移動して下さい。  
ただし、間仕切壁位置からおおむね50mm以内として下さい。

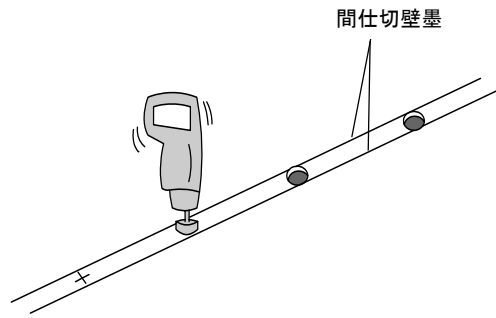
上から見た図



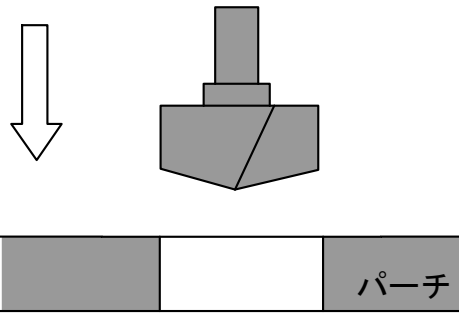
横から見た図



### 4.3 穴あけ



印を付けたところにドリル刃で穴をあけます。

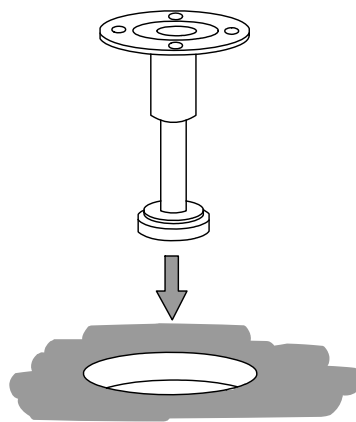


ドリル刃は次のものを使用します。

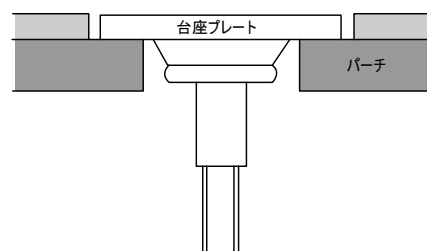
品番：NMT-50~190  
φ35mm

品番：NMT-220  
~1060  
φ45mm

### 4.4 挿入

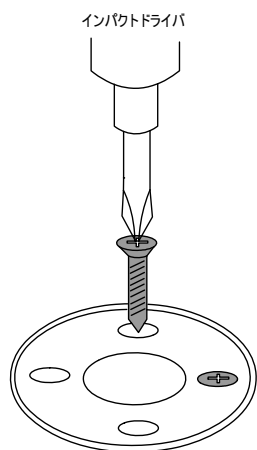


穴をあけた箇所に脚を挿入します。



パーチ上に台座プレートが乗ります。

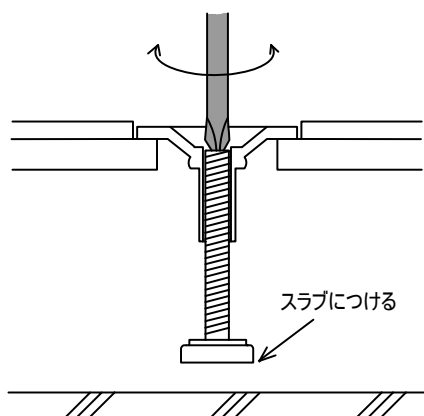
## 4.5 ビス留め



台座プレートの上からビスを打ち  
パーチに固定します。

**注意**  
必ず4箇所ビス留めして下さい。  
**注意**  
全ねじのビスをご使用下さい。

## 4.6 レベル調整



ボルトを廻し、脚がスラブに接触するよ  
うに調整します。

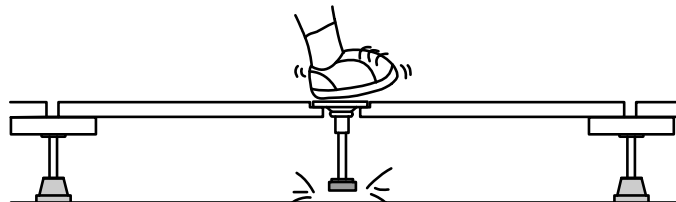
**注意**  
強く締めすぎてレベルを狂わさないよ  
うに注意して下さい。

## 4.7 床全体のレベル点検

レベル調整が全て終わったら床の上を歩いて、支持脚の「浮き」が無いか確認します。

浮いている箇所は、支持脚がスラブに付くまで、ボルトを回して下さい。

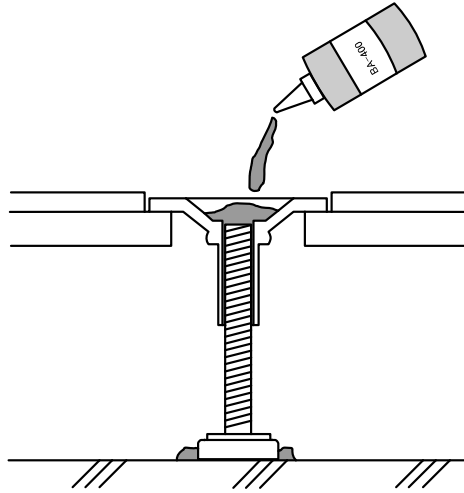
このとき、パーチの水平を保つようにして下さい。



支持脚の上を歩いて、他よりやわらかく感じたら、浮いている可能性があります。

## 4.8 接着剤の注入

ボルト上部に接着剤をたっぷり注入  
します。



注入量の目安は H=200mm以下 → 3ml  
500mm以下 → 5ml  
500mm以上 → 7ml です。

接着剤が硬化するには、1～2日くらいかかります。

「仕様は予告なく変更することがあります。」